

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「実践的食育」

<テーマの設定理由>（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色 など）

園近隣に大きな公園があることや地域の方とのかかわりが深く、毎年ブルーベリー摘みやじゃがいも堀りなど食に触れる体験を多く取り入れている。園でも乳児クラスから野菜の栽培を積極的に行っている。また、栄養士と保育士、職員間の結びつきが強いため食育活動にも力を入れている。

2. 探究活動の実践

		対象クラス・対象人数							
	実施日	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	地域	地域
①	2026.02.19	6	8	10	12	11	11		
②									
③									
④									
⑤									

活動内容
いどう果樹園さんにお越し頂いて、いちごの収穫体験を行った。 まずは、保育室でいちごに関してのお話を聞いた。おいしいいちごの見分け方や、いちごを育てる虫の存在(ハチ)について教えていただいた。特にいちごの収穫の仕方は人形を使い、わかりやすく伝えていただいた。 収穫では、3階の屋上を使用した。取ってすぐのいちごを食べたり、カップに詰めたりしていった。 活動後には乳児は給食で提供・幼児クラスではおやつにいちごジャムのクッキングで使用し、生のいちごと合わせて提供した。

- (活動のためにどのような環境を設定したか、準備した 素材や道具)
- ・ 活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。
- (活動の内容、活動中見られた 子どもの姿、教諭 との関わり 等)

活動におけるチェックリスト	
グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。	☐
活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。	☐
乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。	☐
記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。	☐
幼稚園・保育所等の各施設の教諭数値・保育者所同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。	☐
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。	☐

活動の様子が分かる写真2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



3. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>	
いい香りが園中に広がり。園が一体となって活動に参加することが出来ていたように感じた。香りで嗅覚が刺激されたことで、子どもたちの触覚もいつもより敏感になっていたように感じる。	
収穫の方法も、人形を使い可視化してくださったり、「クルッ」「シュッ」などわかりやすい言葉で伝えて頂けてありがたかった。	
前回のみかん狩りと同様にジャムにしたり、すぐに提供することができ、つながりのある保育が出来た。	

4. 今月の購入実績

注文日	項目	費用（税込）	購入方法
5月22日	いどう果樹園 いちごがりプラン	297,000	Jクレスト
		297,000	

記入日：	2026.02.19
記入者：	齋藤ふたば